

第3期喜多方市DX推進
実施計画に関する意見書
(答申書)

令和8年3月

喜多方市DX推進協議会

令和8年3月26日

喜多方市長 遠藤 忠一 様

喜多方市DX推進協議会

会 長 鈴木 崇正

第3期喜多方市DX推進実施計画について（答申）

令和7年7月15日付け7企第242号による諮問について審議した結果、以下のとおり意見を申し述べます。

本市におけるDX推進は、オンライン化の進展、業務システムの標準化、職員研修の充実、生成AIの導入など、総じて着実に前進しています。他方で、オープンデータの一層の拡充やデジタルデバイド対策、地域におけるデジタル活用の深化など、なお取り組みを強化すべき領域も明らかとなりました。これらを総合的に踏まえ、次期計画においてさらなる発展を期待します。

《基本方針1》デジタルを活用した市民サービスの向上

- 1 行政手続のオンライン化・デジタル化の推進については、コンビニ交付・収納の利用増加や、職員によるオンライン化ツールの活用拡大など、市民サービス向上に資する取組が適切に進められています。

今後は、利用者目線に立った手続の分かりやすさや操作性の向上を図り、誰もが使いやすく、利便性を実感できるオンラインサービスの実現を期待します。

- 2 行政情報公開の拡充と情報発信の充実・強化については、多様な発信手段の活用が有効に機能しており、その継続を評価します。オープンデータは増加傾向にありますが、さらなる拡大に向けて、研修成果の定着と視認しやすい形式によるデータ公開手法の強化を図ってください。

これにより、市の情報がより分かりやすく、受け取りやすいものとなることを期待します。

《基本方針2》デジタル化による行政運営の効率化

- 1 業務の効率化とデジタル人材の育成・確保については、オンライン会議の再拡大、DX研修の充実、ビジネスチャットの定着、職員用Wi-Fi整備など、業務効率化に向けた環境整備が着実に進んでいます。

財務会計システムの電子決裁化については、運用の定着を見据え、関連する業務フローも含めた改善を進めることを求めます。

これらにより、行政サービスがより迅速かつ安定して提供されることを期待します。

- 2 情報システムの最適化と新技術の導入・活用については、全 20 業務システムの標準化・共通化が完了し、本市のDX推進における大きな成果となりました。

生成AIについては、研修や視察の内容を踏まえ、安全な利用ルールの整備と業務改善への実装をさらに推進してください。

これにより、各種申請・手続等の行政サービスの質が安定的に向上し、問合せや情報提供がより分かりやすく利用しやすいものとなることを期待します。

《基本方針3》 デジタルの活用による地域社会づくり

- 1 安全・安心な暮らしをつくるデジタルの活用については、災害情報連携システムの運用や、健康・医療・福祉分野でのデジタル化が、市民の安全性向上や健康づくりに寄与しています。

今後は、「めぐぶらぎ」における子どもの発育・発達支援の充実や、集団検診の予約システムの活用など、市民が安心して元気に暮らせる地域社会の実現に向け、全国的な動向も踏まえた取組を進めてください。

- 2 産業振興・教育の充実に向けたデジタル活用については、キャッシュレス還元事業、スマート農業支援、学校でのICT活用、生涯学習分野のeスポーツなど、幅広い分野で取組が進展しています。

今後は、公衆無線LANの拡大や産業分野のデータ活用支援など、地域のデジタル基盤強化をさらに推進してください。

これにより、買い物や学び、仕事がより便利で快適になることを期待します。

《共通》

デジタルデバйд対策については、対面窓口の継続に加え、NPO主催のスマホ教室の開催や、地域情報通信基盤を活用した光サービスの提供などの取組が進んでいます。

今後は、地域ごとの課題を踏まえ、よりきめ細かな支援策の検討を進めてください。

これにより、デジタルが苦手な方でも取り残されることなく、誰もが利便性を享受できる環境が整うことを期待します。

情報セキュリティ対策については、5年ぶりとなる情報セキュリティポリシーの改定を予定していることから、改定後の運用徹底と、組織全体のセキュリティ強化を引き続き推進してください。